

## 研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

FFR Angio 解析の再現性評価：診療放射線技師と循環器内科医の比較

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2024年1月1日から2025年7月31日の期間に昭和医科大学藤が丘病院で冠動脈造影を用いたFFR Angioを行った患者さんを対象とします

### 2. 研究目的・方法

心臓の血管に狭いところがあるかどうかを調べる方法として、「FFR（エフエフアール）」という検査が広く使われています。しかし、この検査では細いワイヤーを血管に通したり、薬を使ったりする必要があり、体への負担が大きいという課題がありました。近年では、新しい方法として「FFR Angio（エフエフアール アンジオ）」という技術が登場しました。これは、通常的心臓カテーテル検査（冠動脈造影）で撮影した画像を使って、血管の狭さの程度を非侵襲的（からだを傷つけない方法）に推定できるものです。検査の手間や負担を減らし、短時間で評価できる方法として注目されています。ただし、この解析では画像の選び方や操作方法によって結果が変わる可能性があります。

そこで本研究では、循環器内科の医師と、専門資格を持つ診療放射線技師がそれぞれ解析を行い、結果がどの程度一致するのかを検討いたします。

対象となるのは、昭和医科大学藤が丘病院で通常的心臓カテーテル検査を受けられた患者さんのうち、FFR Angio 解析を行った症例です。

### 3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年 3月 31日まで

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

心臓カテーテル検査（冠動脈造影）で撮影された画像データ、患者の診療情報（年齢、性別、身長、体重、既往歴、臨床情報）

**5. 外部への試料・情報の提供**

該当いたしません。

**6. 研究組織**

研究責任者 昭和医科大学藤が丘病院 放射線技術部 加藤樹  
研究分担者 昭和医科大学藤が丘病院 放射線技術部 中井雄一  
研究分担者 昭和医科大学藤が丘病院 放射線技術部 安田光慶

**7. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：放射線技術部

氏名：加藤 樹

住所：横浜市青葉区藤が丘 1-30

電話番号：045-974-6234